

NCVC 院内トリアージ基準

2026/5/1作成

1、目的

救急搬送および自ら来院された患者の重症度、緊急度を判断し、生命の危機的な状態にある患者を早期に発見し適切な診療を行うことを目的としています。

2、院内トリアージの流れ

トリアージは、患者来院後ただちに（10分以内が望ましい）救急外来にてトリアージ担当者が実施します。

- 1) 主訴の確認
- 2) トリアージレベルの判定
- 3) 問診

3、判断基準

当院ではJTAS(Japan Triage and Acuity:緊急度判定支援システム) を基準に判断を行います。JTASの緊急度判定は、青、赤、黄、緑、白の5段階に分類されています。

「青」は最も緊急度が高く、直ちに診察および治療が必要な状態です。

「赤」は緊急で、**10分以内に診察**が必要なレベルであり、**15分毎に再評価**を行います。

「黄」は準緊急で、**30分以内に診察**が必要なレベルであり、**30分毎に再評価**を行います。

「緑」は低緊急で、**1時間以内に診察**が必要なレベルであり、**1時間毎に再評価**を行います。

「白」は非緊急で、**2時間以内に診察**が必要なレベルであり、**2時間毎に再評価**を行います。

レベル	緊急度	治療までの時間	再評価の間隔
レベル1	蘇生	直ちに診察・診療	治療の継続
レベル2	緊急	10分以内に診察	15分毎の再評価
レベル3	準緊急	30分以内に診察	30分毎の再評価
レベル4	低緊急	1時間以内に診察	1時間毎の再評価
レベル5	非緊急	2時間以内に診察	2時間毎の再評価

* 上記表はJTAS2023ガイドブックに基づいて作成